



四月十九日(日)、春の「緑の募金」活動の一環として、高知市で「街頭募金」を実施しました。当日、街頭募金出発式が行われ、木村業務管理官が祝辞を述べました。(写真上) その後、街頭に出て「緑の募金」活動も行いました。(写真下)

「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンに、五月三十一日まで展開しています。全国緑化キャンペーン実施要領には、「緑の募金活動は、国民運動として一層の進展を期待されている」とあります。

このため、広く県民の皆さま方に、森林整備の重要性や木材利用の意義などに理解と関心を深めて頂くことは大切です。そのためにも、緑の募金活動は大きな役割を担っています。引き続き取り組みにご協力を。

みんなの心に緑のたねを

春の「緑の募金活動」

## 活動写真・木作品展 森林ふれあい館(局)で開催

平成26年度に、局・署等・四万十川森林ふれあい推進センターが取り組みました森林環境教育の活動写真と、

森林環境教育ボランティアが作製した端午の節句に合わせた木作品などの展示を下記の日程等で開催しています。

記

場所 局1階 森林ふれあい館  
期間 4月20日(月)~5月29日(金)  
時間 8時30分~5時まで(土、日、祝日開館)  
局へお寄りの節は、「森林ふれあい館」へ。

### 編集後記

「目に青葉、山ほととぎす 初鯉」 この句はご承知のように江戸中期の俳人・山口素堂の作です。季節を感じながら季節の味を頂く。

風かおる5月、過ごしやすい季節に。体調と相談、少し歩いてみるか、それも良い季節に。自分流に季節と上手く付きあってみては。



「タンポポ」って



春の代表的な花のタンポポ。

実はいま、市内で見られるタンポポのほとんどは、昔ながらの日本のタンポポ(写真右)ではなく、ヨーロッパから帰化したセイヨウタンポポ(写真左)に置き換わっている。

セイヨウタンポポは、虫の力を借りなくても沢山の種子ができること、種の稔性率や発芽率がよいこと、開花までの期間が短いことなど繁殖には有利な条件が揃っているため今日のような繁栄をしたと考えられる。

また、セイヨウタンポポの生えている場所は、空き地、グラウンド、駐車場などに多く、古い庭園、耕作地などには少ない。

日本のタンポポとセイヨウタンポポは、花の下にある総苞片(そうほうへん)がそり返らない、反り返るで簡単に区別することができる。(街の自然観察より)